

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

spring 2013
Apr. - Jun.

84

人類の耳が知る、
最高の贅沢。

特集

「ストラディヴァリウス」

サミット・コンサート 2013

STRADIVARIUS
SUMMIT CONCERT 2013



特集

03 人類の耳が知る、
最高の贅沢。

ストラディヴァリウス・
サミット・コンサート2013

ピックアップイベント

08 今年も中也賞の
受賞作品が決まる!

山口情報芸術センター

YCAM10周年記念祭
「YCAM ARCHIVES EXHIBITION」
YCAMの10年の軌跡がここに

中原中也記念館

企画展「旅する中也—汽車の笛聞こえもくれば」
中也が旅した風景を巡る

山口市民会館

HATA MOTOHIRO “Signed POP” TOUR 2013
泰基博にしか描けない歌詞と音楽

演劇公演「男嫌い〜と娘は言うが、ほんとかしら? 私の娘なのに〜」
心がふわっと温かくなるハートフルコメディ

12 any 通信

- ◎アーティストボイス 真利子哲也 (映画監督)
- ◎お先に試写しました 「ザ・フューチャー」
- ◎いらっしやいませ カフェ・ド・クロワッサン
- ◎GOOD GOODS 中原中也記念館オリジナルグッズ「中原中也ことばのふせん」
- ◎My Favorite 池田 誠 (中原中也記念館 職員)

14 イベントカレンダー 4~6月
INFORMATION

名器「ストラディヴァリウス」が、
11台も集結する「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート」。
総額90億円といわれる11台の歴史的名器を奏でるのは、
世界最高レベルの技巧を誇る
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(ベルリン・フィル)のトップメンバーたち。
世界最高峰の名器と名手が揃う、究極のアンサンブル!!
クラシックファンならずとも、聴き逃せない贅沢なコンサートが
ここ山口で実現します。

人類の耳が知る、 最高の贅沢。

特集
「ストラディヴァリウス・
サミット・コンサート2013」



STRADIVARIUS SUMMIT CONCERT 2013

STRADIVARIUS SUMMIT CONCERT 2013

ストラディヴァリウスだけのアンサンブルを、しかも国際的に活躍する世界トップクラスの演奏者で作ったらどうだろう？ そんな夢のようなコンサートが日本で企画され、ストラディヴァリウスの世界的なコレクターであるハビスロイティンガー・ストラディヴァリウス財団の協力のもと、8台のストラディヴァリウスが日本に集められたのが、20年前。こうして1993年、第1回目のサミット・コンサートが開催されます。その後96年、98年と回数を重ね、ストラディヴァリウスの数は現在と同じ11台に。また、ベルリン・フィルの団員で構成されたアンサンブル“ベルリン・フィルハーモニック・ストラディヴァリ・ソロイスト”が結成されます。その後2年ごとに来日し、その比類のない演奏は至る所で絶賛を博しています。今回初めて山口でもサミット・コンサートが行われるということで、メンバーの1人であり、日本語が堪能なセバスティアン・ヘーシュ氏に、ストラディヴァリウスの魅力やプログラムについてお話を伺いました。

ここに連れて行ってくれる。
ストラドが頭に思い浮かべれば、
こういう音を出したいと

演奏家にとってのストラディヴァリウスの魅力とは？

ストラディヴァリウスは、温かく、美しい豊潤な音色を持つ楽器で、どんなに小さなピアノシモも、客席の一番後ろのお客様にまで届けることができます。それぞれのストラドには、独特の音色、独特の声があります。自分の意図した音を創り出す手助けをしてくれる心強い存在で、こういう音を出したいと頭に思い浮かべれば、ストラドがそこに連れて行ってくれるのです。きちんと音が届くような音量を出しているか心配する必要もないので、音楽に集中することができます。

また、ストラドはこの350年間、常に最高の楽器であり続けてきましたから、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスと、それぞれの時代の名ヴァイオリニストたちが皆この楽器を演奏してきました。そんな楽器そのものの歴史も、ストラドの魅力の一つになっていると思います。

いつもストラディヴァリウスを演奏する際に心掛けていることはありますか？

楽器自身が呼吸できるように、無理強いをしないこと、そして弦を押さえつけないこと。楽器は弾き手についてきてくれます。大切な人のように、大事に扱えばよいのです。そして、今この手の中にある木の塊に、どんな途方もない値段がついているのかは、あまり考え過ぎないようにしています。そうでないと緊張してしまいますから(笑)。

素晴らしい楽器で演奏しているということの喜びと榮譽が大きくて、ぶつかることはありません。

どのようにしてほかのメンバーと息の合った演奏ができるのでしょうか？

私たちはもう15年以上もアンサンブルとして活動をしていますし、メンバーのうち多くは、ベルリン・フィルでそれ以前からずっと一緒に演奏してきた仲間です。音楽的にも人間的にも、お互いのことをよく理解しています。このストラディヴァリウス・サミット・コンサートでも、何百回のコ

ンサートと、それ以上のリハーサルを重ねてきました。もちろん常に皆の意見が一致するわけではありませんが、この類まれな素晴らしい楽器で演奏しているということの喜びと榮譽が大きくて、ぶつかることはありませんね。時には、話し合いをして、新しい方法を試みて、次のコンサートでまた変えて、と試行錯誤を繰り返すこともあります。

17世紀の終わりから20世紀初頭までを網羅した、バラエティー豊かなプログラム。

今回演奏するプログラムについて教えてください。

山口で演奏するのは、17世紀の終わりから20世紀初頭までを網羅した、非常にバラエティーに富んだプログラムです。プログラムの幕開けは、世界で最も有名なクラシック作品、モーツァルトの《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》です。何度弾いても何度聞いても、これ以上の音楽はこの世にないと思わせてくれる作品です。次は、時代を80年ほど遡り、ヴィヴァルディです。バロック時代において、2つのチェロのための協奏曲を作曲するというのはとても珍しいことでした。というのもこの時代、独奏楽器として用いられるのはヴァイオリンやチェンバロ、あるいは管楽器が主流で、チェロは通常、通奏低音を担当する楽器だったからです。ヴィヴァルディは素晴らしいヴァイオリニストでもありましたから、チェロのこともよく勉強したに違いありません。作曲の見事なまでの精巧さが随所に感じられます。メンデルスゾーンは、この《弦楽のための交響曲》を作曲したとき、弱冠14歳でした。本当に驚くべきことです。あの有名なヴァイオリン協奏曲のような後年の傑作へと繋がっていく予感を、既に感じ取ることができます。コントラストを出すために、このプログラムには、ここでバッハのチェンバロ協奏曲をはさみました。ヴィヴァルディと同時代の作品ですが、この2人の天才のなん



と違うことでしょう。バッハの厳粛で敬虔な心が、その素晴らしい音楽を通して語りかけてくるようです。最後はスークです。20世紀初頭、多くの作曲家が自分自身を表現する新たな方法を模索する一方、スークのように、和声を基調とするロマン派の伝統にとどまることを選択した作曲家もいました。《弦楽のためのセレナーデ》は、ときに悲しく、ときに幸福に奏でられる、先人たちの智慧に満ち溢れた素晴らしい作品です。

クラシック音楽の250年を辿る旅へ。

コンサートを楽しみにしている山口の観客に向けてメッセージをお願いします。世界最高峰の楽器で奏でられる、クラシック音楽の250年を辿る旅に、是非一緒に乗り出しましょう。もうすぐ皆様のお目にかかれることを、皆心待ちにしています！

セバスティアン・ヘーシュ SEBASTIAN HEESCH



ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
第1ヴァイオリン
1964年、ハイデ(ドイツ)生まれ。3歳の時にヴァイオリンを習い始める。1988年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者となる。1994年、ベルリン・フィルに入団。

ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013

2013年6月8日(土)
15:00開演 (30分前開場)
会場: 山口市民会館 大ホール
[チケット情報] 発売中
[料金] 全席指定 ※未就学児入場不可
前売 一般 S席 7,000円 / A席 6,000円 / B席 5,000円 / 25歳以下各半額
※ any会員は一般価格より各500円引(1会員4枚まで)

PRESENT

「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」の公演チケットや関連グッズをプレゼントします。

【申込方法】ご希望のプレゼント番号、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、4月30日(火)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

- A 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」公演チケット(ペア5組)
- B 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」公演プログラム(1名)
コンサート当日ロビーにて販売される2013年ツアー用公演プログラム(2,000円)。

【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7 (公財)山口市文化振興財団
「any vol.84 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcr.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

わかる！ キーワード

【ハビスロイティンガー・ストラディヴァリウス財団】 繊維企業家であり、音楽愛好家のロルフ・ハビスロイティンガーによって1964年に創設。ストラディヴァリウスのほか、ガッレリ、アマティなど多くの名器を収集。それらは財団を通じてこれまで多くの名演奏家に付与され演奏されてきた。今回のサミット・コンサートでは6台のストラディヴァリウスを提供している。

ストラディヴァリウス図鑑

Stradivarius

17世紀半ば、イタリアの北部の街クレモナに生まれたヴァイオリン職人、アントーニオ・ストラディヴァリとその息子たちが世に残した弦楽器、それが“ストラディヴァリウス”です。今回コンサートに集まるストラディヴァリウスは、ヴァイオリン7台、ヴィオラ2台、チェロ2台の計11台。そのうちの半分がスイスのハビスロイティンガー・ストラディヴァリウス財団から付与されたものです。ここでは、その財団が所有するヴァイオリン2台、ヴィオラ2台、チェロ2台の計6台の名器たちをご紹介します。

VIOLIN ヴァイオリン



キング・ジョージ III
KING GEORGE III

1710年製作

ストラディヴァリの技巧が最も円熟した、1700年から20年間の「黄金期」に製作された1台。英国王ジョージ3世に愛用されたといわれ、後に、ヴァイオリン演奏にも秀でた有能なスコットランド人将校へと下賜される。将校は常にこのヴァイオリンを所持し、1815年のワーテルローの戦いで戦死したとき、同戦争で死んだ馬の鞍鞆の中からヴァイオリン・ケースが発見され、その中に入っていたという。その後、ドイツのヴァイオリニストで作曲家のヴィルヘルム・ベルンハルト・モリークが所有。1929年には、日本人ヴァイオリニスト・指揮者・作曲家の貴志康一がベルリンで購入し、1933年頃まで所有していた。



アウレア
AUREA

1715年製作

ストラディヴァリの黄金期の中でも最も傑作が集中した頃に製作された1台。その明瞭な音と、精巧な作りはまさに黄金期の作品にふさわしい。このヴァイオリンには不思議なエピソードがある。著名なヴァイオリニストであったパートル教授が所有していたが、指に重傷を負ったため、ヴァイオリンを右手に持って演奏できるように調整して、40年間この楽器を愛用したという。1909年頃、この楽器は現在のように左手で持つオリジナルの状態に戻された。

VIOLA ヴィオラ



グスタフ・マーラー
GUSTAV MAHLER

1672年製作

ストラディヴァリが製作したヴィオラのうち、現存が確認されている約10台の中で、最初に作られた作品。頭部、横板、裏板には通常使用される楓より軟らかなポプラが使われている。もとのラベルにはストラディヴァリの名前(Antonius)の(u)が逆さになり、(Antonins)と読める。1872年、英国人コレクター、ジョセフ・ジロットの死後に売却され、サウス・ケンジントンで初めて公開される。さらにリチャード・ベネットのコレクションとなり、1893年にはロンドンのヒル商会の手を経て、数名の個人所有となった後、1960年7月7日、ハビスロイティンガー・コレクションに納められる。ちょうどグスタフ・マーラーの生誕100年祭の日であったため、この名がつけられた。



ギブソン
GIBSON

1734年製作

稀少なヴィオラの、現存する中で最後の作品といわれている。オリジナルのラベルは失われているが、1734年製作の作品。一時期ジョセフ・ジロットが所有し、パリのガン・ベルナルデルからアルフレッド・ギブソンに売られる。優れたヴァイオリニストであったギブソンは、ヨアヒム弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。当時このカルテットは、4台の弦楽器がすべてストラディヴァリウスであった。次の所有者となったマレー将軍も、ストラディヴァリウスのカルテットを持っていたという。その後多くの人の手を経て、ハビスロイティンガー財団のコレクションとなった。

CELLO チェロ



ド・ケルマデック＝ブラス
DE KERMADEC-BLÄSS

1698年製作

ストラディヴァリの製作したチェロの中でもよく知られた1台で、裏板にポプラが使用されている。長い間フランスのド・ケルマデック家が所有していたためにこの名前がついた。その後、楽器はパーセボ一家が購入した。1900年頃、パリの有名なチェリスト、フランシス・トゥーシェの所有となる。1909年頃、チェロは英国に渡るが、1949年には再びフランスに戻る。さらに1957年にスイスへ渡り、1964年、ハビスロイティンガー財団のコレクションとなる。



ボナミ・ドブレー＝スツジア
BONAMY DOBREE-SUGGIA

1717年製作

様々な遍歴を経た後、英国の著名なチェロ奏者ハンコックから文学者ボナミ・ドブレーの手に渡った後、ロンドンのヒル商会に売却される。また、ロンドンのテート・ブリテン収蔵の画家オーガスタス・ジョン卿によって描かれた、カザルスと親交があったチェロの名手ギレルミナ・スツジアの肖像画にも登場する。かつての2名の所有者の名をとって「ボナミ・ドブレー」または「スツジア」と呼ばれている。スツジア女史の遺志で、楽器売却の収益は英国王室音楽院に寄付され、音楽を学ぶ学生たちに役立てられている。その後、サミュエル・L・クロッカーの所有となり、1958年まで「ストラディヴァリウス弦楽四重奏団」で演奏されていた。

ストラディヴァリウスを包む謎

1 制作者である ストラディヴァリの謎

ストラディヴァリは93歳で亡くなるまでの間たくさん数の楽器を製作したといわれていますが、その数は1,000とも2,000ともいわれ、正確な数は把握されていません。また、その長い生涯も謎に包まれた部分が多く、出生やどのような遍歴をたどり職人になったのかよく分かっていません。

2 楽器の 製造方法の謎

ストラディヴァリがどのようにしてその独特の美音を生み出す名器たちを作り出したのか、なぜ、300年を経てもなお世界最高の楽器として、のびやかな美音を奏で続けられるのか、その製作技術はいまだに解き明かされていません。それは、300年たった今でも科学者や制作者たちの挑戦を拒み続けています。

3 最先端科学でも 太刀打ちできない謎

弦楽器の音色、音量、デリケートな響きの表情などを大きく決定するニス。ストラディヴァリが独自に考案したオリジナルのニスはオレンジ色に輝き、透き通ったニスの向こうから木部の繊維までがきらきら光って、見る者を圧倒させます。しかし、その最大の特徴であるニスの原料、あるいは調合方法などは、現在の科学技術をもってしても解明できていないのです。

今年も中也賞の 受賞作品が 決まる!

新鮮な感覚を備えた
優れた現代詩の詩集に対して
贈られる「中原中也賞」。
今年も公募と推薦の詩集
176点の中から、
2月の選考会を経て
受賞詩集が決定しました。

2月中旬、若手の詩人の登竜門ともいわれるこの賞に、
今回は69歳の細田傳造による
初詩集『谷間の百合』が選ばれたというニュースが届く。
最終選考に残った詩集のなかでも、
「ことばの持つ現代の意識、読者の心をとらえる生々しい魅力と初々しさ」
という点で選考委員の意見が一致したのが『谷間の百合』だったという。
「年齢を超えて、若々しいことばの世界が創造されていた」と評価され、
見事受賞。この受賞発表を受け、さっそく細田傳造さんの声を聞くべく、
緊急インタビューを行いました。

(受賞詩集の詩の抜粋をP.10で紹介しています。そちらもあわせてご覧ください。)

HOSODA DENZO INTERVIEW

デビュー作となる詩集『谷間の百合』が、中原中也賞を受賞したと発表されてから
数日経ちましたが、改めていまだどんなお気持ちですか？
「気持ちは落ち着き始めています。(受賞におおぼれず)今後も自分の力量に見合った詩
を書いていきたいです。背伸びとか悔いとかしないで自分らしくありたいと思っています。」

詩集『谷間の百合』は、細田さんにとってどんな作品なのでしょう？
「時間とか父祖の地とかの意識から解き放されて港を出てゆく小舟でしたが、引いて
ゆく潮にひきもどされてしまうつらさ。それがみえる作品です。」

詩を書き始めたきっかけは？
「きっかけは、町田康の作品を読んだこと。あと現代詩人の作品を読み漁りました。」

細田さんにとって、詩を書くことは？
「自分に対して異議を申し立てること。そのことによって読み手が共振してくれれば、
と思っています。」

次回作はもうお決まりですか？
「第2詩集『びーたーらびっと』を5〜6月あたりに出します。」



細田傳造 Hosoda Denzo
1943年生まれ。学習院大学文学部中退。2008年頃から詩作を始める。
2012年、第一詩集『谷間の百合』(書肆山田)を出版。



山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

YCAM10周年記念祭 「YCAM ARCHIVES EXHIBITION」

2013年4月20日(土)～6月16日(日) 10:00～20:00
会場:館内各所

YCAMの10年の軌跡がここに

進化するアートセンターとして、YCAMが2003年の開館以降取り組み続けている芸術的創造の数々を紹介する展覧会。中央公園や中庭を使った霧の作品「CLOUD FOREST」や5周年のときに発表された大友良英「ENSEMBLES」の作品、昨年春から夏にかけてたくさん子どもたち、家族がつめかけた「コロガル公園」も含めた、懐かしい作品から記憶に新しい展覧会、ダンスや演劇公演など、これまでにYCAMで制作された話題の作品たちを、作家のインタビューを織り交ぜた映像等で紹介していきます。「メディア」の特性をYCAMの活動の軌跡とあわせて読み解くためのアー



10年前のYCAM

料金 | 無料

カイヴ展。山口で産声をあげて10年、生み出された数々のプロジェクトに携わったアーティストたちが語るYCAM。これまであまり立ち寄る機会がなかった方も、夏から始まる10周年の前にぜひお立ち寄りください。



「ENSEMBLES」展の様子(2008)

わたしはココに注目する!

10年のあいだ幅広い活動を行ってきたYCAM。その活動に込められた思いがこのアーカイヴ展には凝縮されています。何度もYCAMを訪れたことのある人、初めて訪れる人、どの人にとってもまだまだ知られていないYCAMの姿がそこにあります。

イベントレポート



出張ワークショップ in 渋谷ヒカリエ 「感覚アスレチック」 「パスタ建築」

デザイナーのナガオカケンメイを中心とするd design編集部が、デザインの視点で47都道府県のその土地“らしさ”を紹介するトラベルガイド『d design travel』。9号目となる山口号が2月に発売され、東京・渋谷ヒカリエ8階「d47 MUSEUM」では誌面に登場する山口号のロングライフなトラベルスポットを47の展示台で紹介する展覧会が開催。その関連イベントとして、YCAM教育普及スタッフによる出張ワークショップと、ナガオカケンメイと教育普及担当の会田大也によるトークイベントが行われました。YCAMオリジナルワークショップの「感覚アスレチック」と「パスタ建築」に東京都内から集まったそれぞれ約10名の方が参加。お昼過ぎからスタートの「感覚アスレチック」では、空間内に張り巡らされたゴムに体が触れてはいけないというルールのもと、ゴムをうまくよけながら歩いたり、くぐったり、椅子になんとかたどりついて座ったりと、参加者は普段意識しない手や足の先まで、すべての感覚をときずましながら体を動かしていました。夕方からの「パスタ建築」では20〜40代の幅広い年齢層の大人たちに混じって、小学生の女の子も参加。年齢に関係なくどの参加者も真剣な顔つきで、パスタを1本1本つなぎあわせ複雑な立体を創造していく作業に集中する姿が印象的でした。また、トークも満席で盛況な1日となりました。



上:「感覚アスレチック」ワークショップ開催の様子
下:「パスタ建築」ワークショップ開催の様子

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

旅するYCAM

「Desire of Codes」 「The EyeWalker」 「skinslides」



「Desire of Codes」展示の様子(2010、YCAM)

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの部門において優れた作品を顕彰する“文化庁メディア芸術祭”。16回目を迎える今年、過去最多の71の国と地域から約3500の応募作品が集まるなか、YCAMで過去に発表された3作品が受賞。エキソニモ「The EyeWalker」、大脳理智「skinslides」が審査委員会推薦作品に、三上晴子「Desire of Codes」が優秀賞に選ばれました。メディア技術を柔軟に取り込み、新しい芸術表現に挑むアーティストとYCAMのコラボレーションが生み出したこれらの作品は、2月にほかの受賞作品とともに東京の国立新美術館で展示され、多くの関心を集めました。

旅するYCAM

YCAM in d47 MUSEUM



左のイベントレポートでも紹介した渋谷ヒカリエ8階のd47 MUSEUMで行われた「d design travel YAMAGUCHI EXHIBITION」。2月1日〜3月31日までの約1ヵ月間、YCAMや中原中也記念館、山口市の酒屋や宿泊施設、食事処、キーパーソンなど、『d design travel 山口号』の誌面に登場する様々なトラベルスポットが紹介されました。YCAMのブースでは、360°どこからでも見られるように円状に並べたYCAMスタッフお手製のモニターを使い、これまでの事業を映像で紹介。また、キーパーソンの1人として誌面で紹介されたYCAM館長のブースもあり、10周年に向け、東京でYCAMの存在感をしっかりとアピールできる貴重な機会となりました。

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

企画展

「旅する中也—汽車の笛聞こえもくれば」

2013年3月27日(水)～8月25日(日)

中也が旅した風景を巡る



昼寝をする中也
(高森文夫撮影、若山牧水記念文学館蔵)

中也が生きていた時代の人々は、主に汽車や船で旅をしていました。旅行は、今よりもはるかに時間や手間のかかるものだったのです。しかし、中也は様々な場所を旅しています。1932年には、詩人で友人の高森文夫とともに宮崎や天草などを巡り、35年には雑誌「紀元」の同人たちと、伊豆大島に1泊旅行へ出かけます。以前住んでいた金沢や京都を再訪することもありました。そういった中で、中也は自身の過去と向き合ったり、旅先で

の体験を元に作品を作ったりしています。この企画展では、古い絵はがきや時刻表などを手がかりに、当時の風景を再現しながら、中也の旅に対する思いに迫ります。「汽車の笛聞こえもくれば／旅おもひ、幼き日をばおもふなり」(「羊の歌」より)とうたった中也。汽車や駅が出てくる作品もあわせて紹介します。

わたしはココに注目する!

中也の詩のなかで直接山口線のことに触れた作品はありませんが、沿線の長門峡を舞台とした作品「冬の長門峡」や、山口線を守る汽車を思わせる作品があり、本展でも紹介しています。

入館料 一般 310円(262円)／大学生 210円(157円)／小中高生 150円(105円)
※70才以上は無料 ※()内は20人以上団体料金 ※あわせて常設テーマ展示もご覧いただけます。

検定 中也



高森文夫(若山牧水記念文学館蔵)

Q 1932年夏、中也は詩人の高森文夫とともに、高森の実家がある宮崎県東郷村(現・日向市東郷町)に2日間滞在します。高森の案内で牧水記念館(歌人・若山牧水の生家跡)を訪れた帰り、中也は突然「この村で俺と二人で○○をやるやう」と高森に提案します。高森が相手にせず実現しませんでしたか、もしこの提案が実現していたら、中也は全く違った人生を歩むことになったでしょう。中也が高森に出した提案とは? ○○○にあてはまる言葉を選んでください。

- 1 果樹園
- 2 居酒屋
- 3 製材所

答えは14ページ

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

HATA MOTOHIRO “Signed POP” TOUR 2013

2013年5月2日(木) 18:00開演

会場:大ホール

秦基博にしか描けない歌詞と音楽

シンガーソングライターの秦基博が1月末に3年ぶりのアルバム「Signed POP」をリリースし、現在全国でライブツアーを開催中。5月には、2009年以来4年ぶりとなる山口でも、その歌声を聴かせてくれます。初めての恋の終わりを歌った、甘く切ない「初恋」。勢いのあるラフな演奏が耳を引くミディアムテンポのロックナンバー「グッバイ・アイザック」の2曲が収録されたアルバム「Signed POP」には、まさに秦にしか描けない歌詞と音楽が広がっています。ライブではその世界観をたっぷり堪能することができそうです。今回は山口市民会館の小ホールでのライブでしたが、人気・実力をさらに飛躍させ、一回り成長した秦基博が、今回は大ホールのステージであなたを待っています。



秦基博さんからのメッセージ

秦基博流のPOP観を追求したアルバム「Signed POP」を約2年ぶりにリリースしました。前回のツアーで山口に行った時は弾き語りでのライブでしたが、今回はバンドスタイルもあり、ひと味違う秦基博が見られると思います。是非ライブで「Signed POP」、新しい秦基博を体感しに来てください!

わたしはココに注目する!

甘い曲も元気なポップナンバーも歌い分ける秦基博のライブは必聴! 特に、テレビアニメ「宇宙兄弟」のエンディングテーマにもなり、話題を集めている「グッバイ・アイザック」は、ライブの生演奏&大音響で聴くとどんなふうに耳に届くのか!? きっと盛り上がること間違いなし!!

チケット情報 発売中
料金 全席指定 前売 一般 5,250円

演劇公演

「男嫌い ～と娘は言うが、ほんとかしら? 私の娘なのに～」

2013年5月28日(火) 18:30開演

会場:大ホール

心がふわっと温かくなるハートフルコメディ



沢口靖子

陣内孝則

市井に生きる人々を描かせたら天下一品の鈴木聡が書き下ろす、ウィットに富んだ人情味あふれるコメディがこの春山口で楽しめます。母子の葛藤とぎすぎすな、一風変わった恋愛や一癖ある心優しい人々との交流が紡ぎだす、涙と笑いがつまった見応えたっぷりのストーリー。出演には、沢口靖子、陣内孝則など実力俳優やミュージカルスター、いま注目を集める若手俳優たちも脇を固め、豪華な面々がそろいます。

母とその娘・志津子42歳(いまだ独身)が切り盛りする老舗のそば屋。そこに、とある事情を抱えた男がやってきてからは、何やらまわりが騒々しい。縁のなかった恋愛騒動に巻き込まれるし、その場しのぎが誤解を招き、さらなる渦中へと引きずり込まれ、話はますますトンチンカンな方向へ…。思いっきり泣いて、心から笑いたい人にお薦めの舞台です!

わたしはココに注目する!

主演を務める沢口靖子さんは、知的な女性を演じるかと思えば、コミカルな役もこなす演技派女優。今回演じるのは、悩んだり傷ついたりしながらも、持ち前の明るさとユーモアで試練を乗り越えていく、どこか抜けているけどカッコいい主人公。女優・沢口靖子の熱演にご注目!!

チケット情報 発売中
料金 全席指定 前売 S席 一般 5,300円
A席 一般 3,800円 / 25歳以下 2,000円 ※any会員は一般料金より各500円引き(1会員4枚まで)
当日 S席 5,800円 A席 4,300円

[作]鈴木聡 [出演]沢口靖子、陣内孝則、松井 誠、木の実ナナ ほか

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

【受賞者コメント】



細田 傳造

Hosoda Denzo

台湾のホテル11Fで受賞を知りました。窓から雲が流れてゆくのが見えます。4年前に詩の習作を始めて、あのころは詩を書くのが楽しくて仕方ありませんでした。このころ気づきだしたら、詩ってとても重い気持ちになります。痛いぐらいです。でもちゃんとした作品を書いてゆこうと思います。

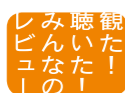
1943年生まれ。埼玉県在住。学習院大学文学部中退。昨年6月に出版された初の詩集『谷間の百合』(書肆山田)が、公募と推薦の計176点の中から第18回中原中也賞を受賞。詩人の北川透、佐々木幹郎、作家の高橋源一郎ら6人の選考委員は「老人の日常がうたわれているように見えるが、日常的な風景から非日常や深い思考にジャンプしている」と評価し、受賞が決まった。

「日が枯れて」(『谷間の百合』所収)より抜粋

きょう幼稚園でちぎれてしまった
しおりせんせいにおこられてちぎってしまった
くらい顔して帰ってきた
かなしいのか
のぞきこむわたしに
かけるは凍った
かなしいってなに?
凍った顔が訊いている
答えられない私が凍った



第18回 中原中也賞



◎厳しく可愛がったのだ。いつの世も子は親の思いどおりにならないのか。(70代女性 「中也の父・謙助」より)
◎おばあさん役の人の演技が一番良かった。(10歳未満女性 「おもひでぼろぼろ」より)
◎公的実験施設としてのYCAMならではの取り組みだと思いました。
ダンスの後のあいさつと拍手はないほうが格調高いと思います。(40代男性 「sound tectonics#12」より)

any通信

暖かい春の光に誘われて
近所を散歩するのも
気持ちいい。



みんなで中也の誕生日を
お祝いしよう。



4月29日は、詩を愛する人にとって特別な日。106年前のこの日、山口市湯田温泉で詩人・中原中也は産声をあげました。その生誕を祝い、今年も中原中也生誕祭「空の下の朗読会」が、中原中也記念館の前庭をステージに行われます。第1部は自由参加の朗読会。みなさんもお気に入りの詩・自作の詩など、好きな詩を選んで参加してください。また、第2部はゲストミュージシャンによるコンサート。今年は歌手のカルメン・マキさんが登場します。彼女が醸し出す妖艶な雰囲気と抜群の歌唱力、そして哀愁のある歌い方は、聴く者の心をつかんで離しません。爽やかな春の空の

下で、中也の詩がどんな形で表現されるのか、とても楽しみです。また、同日夕方からは、会場を移し、第18回中原中也賞の贈呈式や記念講演が行われます。ぜひこちらもご参加を!

中原中也生誕祭「空の下の朗読会」
2013年4月29日(月・祝)
12:30~15:00 (詩の朗読希望者は12:00より受付)
会場:中原中也記念館 前庭
(雨天の場合、ホテル松政)
 [ゲスト]カルメン・マキ(歌手)
 [料金]無料(当日は、記念館への入館料も無料)

「第18回中原中也賞贈呈式&記念講演」
2013年4月29日(月・祝)
16:20~17:00 「贈呈式」
17:20~18:20 記念講演
「口ずさむ詩歌」(坪内稔典/俳人・佛敎大学文学部教授)
会場:ホテル松政
 [料金]無料

「コロガル公園」再び現る!?

昨年開催され、終わった後も「また開催して!」とリクエストが寄せられるほど好評だった「コロガル公園」が、10周年の企画の1つとして再び登場。名前を「コロガルパビリオン」に変え、また場所をYCAM館内から屋外へと移動し、ついに7月みなさんの前に出現します!前回よりさらにグレードアップした素敵なスペースになるよう、ただいま教育普及スタッフが全身全霊をかけ準備中。春頃から制作にとりかかり、中央公園のどこかに徐々に姿を現し始める「コロガルパビリオン」。みなさんご注目!!



昨年の「コロガル公園」開催の様子

子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」
2013年7月~ 会場:中央公園内

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

真利子哲也 (映画監督)

昨年の夏、いま注目を集める気鋭の映画作家、真利子哲也さんの作品を特集上映し、関連企画のトークイベントでは監督ご本人にお越しいただき、制作過程や裏話などをたっぷりとお話いただきました。さてさて、真利子哲也さん、初めて訪れたYCAMはいかがでしたか?

この人たちがいるからこそ、
創作活動を続けていきたいと思いました。



YCAMまでの道のりは、地図上で思うより遠い印象でした。松山観光港から柳井港に到着して、たくさんの金魚の飾りが並んだ風情ある駅を過ぎ、いつの間にか到着した近代的なYCAMまで、タイムリープするような、とても不思議な体験として記憶に残っています。YCAMには自分と同年代のスタッフたち(特に女性!)が、専門的な仕事を熱心に全うされていました。ま

た一方で、世界でもトップクラスのアート作品が集まるYCAMには、当然ながら周辺に住んでいる人たちが足繁く通っていて、実際にお話を伺ってみると、目を輝かせてYCAMで体験したエピソードを話してくれました。たとえ難解だと言われる作品でも提示の仕方ですら誰にでも届くのだ、というある種の開放感を得たのを覚えています。ぼくはこの人たちがいるからこそ、創作活動を続けていきたいと思いました。時流に振り回されずに確かなものを残して、またYCAMに足を運びたいと思います。

真利子哲也監督特集
2012年8月17日~19日
会場:山口情報芸術センター



[NINIFUNI] ©ジヤンゴフィルム、真利子哲也

数々の映画祭で国際的に高い評価を受ける映画監督・真利子哲也にもスポットをあてた特集上映を開催。ここでは、ロカルノ国際映画祭で招待作品に選ばれた「NINIFUNI」、東京藝術大学大学院の修了制作作品で劇場長編デビュー作「イエローキッド」、初期短編2作を上映。また関連企画として、真利子監督を山口に招き、映画制作の過程や撮影の裏話を、制作者自身が語るトークイベントを行い、好評を集めた。

真利子哲也 MARIKO Tetsuya

法政大学在学中に制作した「ほそ」が、2003年長府映画祭でグランプリを受賞。その後、「極東のマンション」「マリコ三十騎」がゆうばり国際ファンタスティック映画祭オフィシアター部門グランプリを受賞。07年、東京藝術大学大学院映像研究科に入学。初の長編「イエローキッド」が、学生映画として画期的なロードショー公開となる。11年、「NINIFUNI」が、ロカルノ国際映画祭で、中編映画としては異例の招待作品に選ばれる。



©Todd Cole 2011

「ザ・フューチャー」

(2011年/ドイツ・アメリカ/91分/カラー)
[監督]ミランダ・ジュライ [出演]ハミッシュ・リンクレイター、ミランダ・ジュライ

何も考えずに日常を過ごしているが、時に「あれ?」って思うことはないだろうか? 「このままでいいのだろうか?」とか、「こんな筈じゃなかった」とか…。実は、私もそう。でも何かきっかけがないと考えることもない。

この映画の主人公たちは、拾った猫の寿命から自らの人生を考え直しはじめる。彼らは様々な試みをはじめること、生活がどんどん変わっていく。そういった、現実的にも起こり得る物語の中で、葛藤し成長(?)していく2人。そして、彼らはあることに気がつく…。と、うまくまとめてしまったが、少年・少女の心の成長を描いた秀作には、よく出会ったりするが、大人の心の成長(といっていいのかな?)を描いた映画で、ここまで嫌味のない作品に出会うことは少ないかもしれない(そういうのって、兎角、教訓的な映画に多いじゃないですか)。それは、物語の中にさり気なく伏線を含んでいる登場人物の日常が、メッセージをしっ



©THE FUTURE 2011

「ザ・フューチャー」 作品紹介

35歳のソフィーはジェイソンと住んで4年目。ある日、ケガを負った迷い猫を動物シェルターに運んだ2人は、世話を十分続ければ、あと5年は生きると告げられる。「5年後には僕たちは40歳。40歳はもうほぼ50。そして、その後の人生には…微妙な変化しかない」。そして、彼らの生活は少しずつ変わり始める。映画だけでなく、アートや小説、パフォーマンスなどで知られるミランダ・ジュライの新作。

My Favorite

記念館前庭・カイツカイブキの根元に建つ「中原中也誕生之地」の石碑。中也の弟・忠郎氏の奥様で、夫の死後も中也の遺品を大切に守り続けた美枝子さんによって、1985年に建てられました。4月29日の中也生誕祭で最初に催される「碑前祭」では、毎年多くの人から花をささげられ、碑もどことなく嬉しそうです。

池田 誠 (中原中也記念館 職員)



池田 誠

お先に
試写し
を
しまし
ませ

かりと含みつつも、ゆるく穏やかに描かれているからかもしれない。鑑賞後は、時にファンタジックで、ユニークな表現をガーリーに包み込んだこの世界に魅了されつつ、彼らの「これから(Future)」に幸あれと。

松富淑香 (YCAM シネマ担当)

2013年5月24日(金) 13:30~/19:00~
25日(土) 13:30~/16:00~
26日(日) 13:30~/16:00~
会場:山口情報芸術センター スタジオC
[料金]一般 1,300円
any会員・特別割引/25歳以下 800円

いらっしませ



姫山ワッフル

600円

※ブレンドコーヒー(ケーキ・デザートとのセットで150円引/単品350円)

ボリューム満点マウテンワッフル

某テレビ局の番組で話題を集めた山口の姫山伝説にちなんで考案された、山の形に盛られたワッフルとアイスクリームが登場。さてさて、温かいうちにワッフルからいきましょう。お、時間をかけてじっくり焼かされただけあって、カリカリでこぼれにくい! 冷たいアイスクリームをつけて食べれば、アイスがとろとろ溶けて絶妙。そこに自家製のベリーソースといちごジャムがほどよい酸味と甘さをプラスしてさらにおいしさ急上昇です。そしてこのボリューム、スイーツ好きには嬉しいけど、2人で食べるとちょうどいいかも? と思いつつも、しっかり完食。お店のひとつと曰く、「食事をされた後でも、このワッフルも食べて帰られる女性、けっこういますよ!」とのこと。春からのワッフル新メニューにも期待大。

カフェ・クロワッサン

山口市中国町7-7 TEL.083-925-6167

営業時間:10:00~18:00 火曜、毎月第4木曜休み

※any会員の方はお会計の際に会員登録提示で全メニュー1割引。

GOOD GOODS



中原中也記念館オリジナルグッズ

「中原中也ことばのふせん」

中也のことばをそっと添えて

「ゆあーん ゆよーん ゆやゆん」 「汚れつつまつた悲しみに」 「ホラホラ、これが僕の骨だ。」。中也の詩のなかでもよく知られていて、かつ耳に残るこの3つのフレーズが端にあしらわれたオリジナルふせんは、中原中也記念館オリジナルグッズの中でも特に人気を集める商品です。ちょっとしたメッセージも、中也のことばが加わると意味ありげに響いてきます…。誰かに伝えたいことばがあるとき、相手の目をちょっと引きたいとき、ぜひこのふせんを使ってください。貼ってはがせる気軽さでことばの儚さも感じさせるふせんが、特別になること間違いなしです。

価格:400円(税込)

聴き
聞きた
あなた
の!

- ◎最後まで詩に自分の気持ちを託した中也を知ることができたように思います。(20代女性 「在りし日の歌」まで)より)
- ◎厳しい中の愛情がすごく感じられる。(50代男性 「中也の父・謙助」より)
- ◎トリオならではの楽しさがあった。共演者とのアドリブの応酬とか、緊張と弛緩のバランスがとにかく絶妙でした。(「Ryuichi Sakamoto Trio Tour」より)
- ◎映画を見たことがあったのですが、映画とはまた違う感じで良かったです。(20代女性 「おもひでぼろぼろ」より)

聴き
聞きた
あなた
の!

- ◎音が可聴領域のレンジの幅一杯使って、耳で感じたのはとても新鮮だった。(50代男性 「sound tectonics #12」より)
- ◎獅子舞が迫力があってすごかった。(10代男性 「おもひでぼろぼろ」より)
- ◎謙助の涙が印象的です。(20代女性 「中也の父・謙助」より)
- ◎音、照明とも良かった。(50代男性 「Ryuichi Sakamoto Trio Tour」より)

4 April

5 May

6 June

掲載内容は2013年3月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター (YCAM) http://www.ycam.jp/	アート 20 [YCAM ARCHIVES EXHIBITION] (本誌P9参照)	シネマ 5 7 「ピラルの世界」 12 14 「その夜の侍」 19 21 映像制作集団「空族」 「サウダーヂ」ほか ※関連トキイベントあり 26 29 恋愛についての4つの考察 「よく知りもしないくせに」ほか	1 6 10 12 15 19 Select CINE TECTONICS #19 トーマス・アルスラン / R・W・ファスビンダー 特集 ※関連トキイベントあり 24 26 「ザ・フューチャー」(本誌P13参照)	7 9 佐藤真監督特集 14 16 21 23 「ホーリー・モーターズ」
山口市市民会館 http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/	2 HATA MOTOHIRO "Signed POP" TOUR 2013 (本誌P11参照)	19 人形劇「オズの魔法使い」 (本誌P11参照) 28 演劇公演「男嫌い」 (本誌P11参照)	31 井上陽水 LIVE2013 Missing (本誌P11参照)	8 ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013 (本誌P3~7参照)
中原中也記念館 http://www.chuyakan.jp/	開催中 企画展「旅する中也—汽車の笛聞こえもくれば」(本誌P10参照)	開催中 第10回常設テーマ展示「中也の“うた”」	26 中原中也を読む会 29 中原中也生誕祭(本誌P12参照)	24 中原中也を読む会 28 中原中也を読む会

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)

<http://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口

※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、
2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで (山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人
山口市文化振興財団
 Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion
 〒753-0075 山口市中央2-5-1 (山口情報芸術センター内)
 TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
<http://www.ycfcp.or.jp/> zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

東京への移動手段をいつも悩みます。飛行機は怖いのですが移動時間が短い。新幹線は移動時間が長いけど、座席も比較的ゆったりしているし、地上を走る安心感があります。今号の編集が落ち着いたら東京へ。さてどっちにしよう。[MD]

P9で紹介した「d design travel」。普通のガイド本とは一味違う、山口県出身者でも知らないスポットにびっくり。読みながら考えてみると、郷土料理を給食でしか食べたことがない自分に気づいてガッカリ。[TI]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
 TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
 [開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
 9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
 [休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
<http://www.chuyakan.jp/> chuyakan@c-able.ne.jp

B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中央2-5-1
 TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
 [開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
 [休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
<http://www.ycam.jp/> information@ycam.jp

C 山口市市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
 TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
 [開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
<http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/> shiminkk@c-able.ne.jp

検定 中 也
 答え 中 也
 A. 3 製材所 (製材所の前を通ったときに言ったそうです。中也は後に「材木」という詩で製材所の情景をうたっています。)

観 覧 聴 取
 した 観 覧
 の ！

- ◎精霊が出てきたときに、木・水・魚・草・花・すずきがすぐに分かりました。(10代未満女性「おもひでぼろぼろ」より)
- ◎最後(3部)の音に宇宙を感じました。(30代男性「sound tectonics#12」より)
- ◎貴重な資料がたくさんあり、その時代を感じることができた。子供の死に直面する親の気持ちと考えたと胸がいたむ。(40代男性「[在りし日の歌]より」)
- ◎父親と息子の反発や、その中にみられる愛情だとか、中也の苦悩みたいなのが見られて良かった。(20代女性「中也の父・謙助」より)



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

